

フイールドは

ねぎぼうずのフイールドは新潟県南部、妙高山の東面標高700mほどの山麓にあります。冬の間は日本海を渡ってきた大陸からの寒気が大量の雪を降らせる豪雪の地です。妙高山原は西側の妙高・火打の山塊、東側には関田山系が千曲川に沿って走り、長野県との県境をなし、ちよつと足を伸ばせば雪深い山里に小さな集落が点在する懐かしい日本の風景があります。そして南側は長野市、北側は上田市から日本海へ続く旧北国街道が走る交通の要衝でもありました。歴史、地勢、気象など体験プログラムの展開には大変恵まれた所です。

テーマは

人の暮らし
今の暮らしは便利さ、快適さと引き換えに失ったものもたくさんあります。ほんの少しだけ自然からの贈りものを頂くための知恵を学びます。昔から里山は燃料や山菜・キノコ、生活に必要な道具を作るための大切な材料の調達場所でした。暮らしを足元から見直すための素敵な教室です。

火をおこす

森の中の枯れ木や伐採木を集めて火を付けます。熊そうですが中々出来ません。そしてやかんや鍋を架ける為の三又を作り、お茶や食べられる植物を探して食べたり飲んでみます。

火をおこすという最もシンプルな原初的なことを見つけた時に人が生まれました。

居小屋を作る

立ち木を伐採して小屋がけをします。屋根は茅や藁、杉の皮を使って葺きます。一晩でも二晩でもこんな小屋で寝泊りできたらかっこいい構文の夢を見られるに違いありません。

食べる、保存する

朝やウサギ、川魚など獲れた獲物を解体調理して食べてみます。また、山菜や木の葉も森の中にはたくさんあります。食べきれなかったものの保存の仕方も考えてみましょう。

生活する

平日や1日の自然体験では充分ではありません。夏休みや長期のお休みが取れる時はツリーハウスや茅葺の居小屋でキャンプ生活をしながら森の中の暮らしを体験しましょう。居小屋の製作から入る本格的なプログラムも出来ます。

音を探そう

森の中の音探しに出かけます。音はやがて音楽となり暮らしの喜びと感謝を表す感情が生まれてくることでしよう。

移動する

移動の基本は歩くこと。テントや寝袋、剣に寝泊りしながら里山を歩きます。登山ではなく人の暮らしのある里山歩きが大切だと考えています。

また、冬にはスキーを使って雪に覆われた里山を訪ねてみましょう。

私たちはスキーを移動の道具と考えています。雪の森や林に入るためにはスキーが出来ることが欠かせませんが、シーズンでの講習は随時受け付けています。少しでもスキー操作に慣れたら広大な雪のフイールドへ飛び出しましょう。



オーダーメイド



テーマや教育の方針によって学校・団体ごとのプログラムを先生及び代表者の方とお打ち合わせの上作成致します。もちろん充実したねぎぼうずのオリジナルプログラムからお選び頂く事もできます。



自然学校ねぎぼうずの詳細な情報は下記URLよりホームページをご覧ください

<http://www.negibozu.net>